

# 診断士にいがた SOUP LETTER

発行／一般社団法人新潟県中小企業診断士協会

第24号／令和2年8月

URL <https://www.n-smeca.jp>

TEL 025-378-4021

FAX 025-378-4022

## 【会長再任のご挨拶】

一般社団法人新潟県中小企業診断士協会

会長 土田正憲



令和2年5月30日に行われた理事会において会長に選出され、2期目を務めることになりました。よろしくお願ひ申し上げます。

さて、コロナ禍で飲食・宿泊業を中心に業績悪化が著しい状況です。新型コロナウイルスは中小企業にビジネスモデルの見直し要求を突き付けたと言われますが、変革の必要性はコロナ前から変わっていません。時間軸が短くなっただけです。コロナ前から米中貿易摩擦や自然災害の頻発、新潟県では記録的な少雪等の外部環境の変化により業績が著しく悪化している中小企業も多く見られます。このような状況を踏まえ、当協会では今年度、以下の事業計画に取り組みます。

### ○基本方針

会員が互いに切磋琢磨してコンサルティング能力の向上に努め、自治体や中小企業支援機関、金融機関等と連携して中小企業の振興に邁進し、充

実した「中小企業診断士ライフ」を送れる魅力ある組織を目指します。また、会員の拡大に取り組みます。

- (1) 会員の協会活動の参加促進
- (2) 会員のコンサルティング能力の向上
- (3) 外部機関・他団体との連携強化
- (4) 中小企業診断士ならびに新潟県協会の認知度の向上
- (5) 会員の拡大

### ○事業計画

#### (1) 交流事業

青年部活動により入会間もない会員の協会活動への参加を促します。研究会の活発な活動と立ち上げの促進等に取り組み、会員相互の交流を促します。

#### (2) 研修事業

理論政策更新研修、経営診断実務実習により、会員のコンサルティング能力の向上を図ります。中小企業診断士受験講座を実施するとともに、その内容の充実に取り組みます。

#### (3) 広報事業

協会活動に関する情報を広く発信します。

「創立60周年記念事業」および「中小企業診断士の日」のイベントを開催し、中小企業診断士ならびに新潟県協会の認知度の向上を図ります。

#### (4) 業務受託事業

金融機関および中小企業支援機関等からの受託業務の円滑な運営に取り組みます。

1期目に続いて地域の産業振興と当協会の活気ある組織づくりに向けて鋭意取り組みます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

## 理事紹介

### 理事・副会長 野水敏勝



この度、引き続き副会長職を拝命した野水敏勝です。土田正憲会長体制になって2年が経ちました。この間、基本方針である「会員が互いに切磋琢磨し、コンサルティング

能力の向上に努め、自治体や中小企業支援機関、金融機関等と連携して中小企業の振興に邁進し、充実した中小企業診断士ライフを送れる魅力ある組織を目指します。」の実践に土田会長を先頭として皆が務めてきたと思います。また若い理事が増え、より積極的な委員会活動や研究会の立ち上げなど協会活動の活性化も顕著です。

私の役割は会長からの特命事項をお引き受けし、会長の負担軽減と、理事ミーティング等の場で少しでも役に立てる意見交換をさせて頂き、それが診断士協会の健全な発展につながれば幸いです。

### 理事・副会長 渡辺芳久



この度、引き続き副会長職を拝命しました渡辺芳久です。土田正憲会長の1期目の仕事は当協会の基盤固めであり、組織が一つになり、会員が一致団結して地域社会に貢献し、認知され、期待される組織になることを目的として取り組まれました。

その結果、若い会員の人達も増え、理事・監事を始めとして会員同士の親睦、信頼、協力関係も深まりました。2期目となる今年は、新型コロナウイルスパンデミックにより、中小企業においても変革を求められており、益々診断士の活躍が期待されます。当協会が一層社会に貢献し、社会から期待される存在になるよう、土田正憲会長の下、土業連絡協議会の担当として県内の他土業の方々との連携を深めることを含め、当協会の発展並びに地域社会に貢献していきたいと思っております。

### 理事・専務理事 近藤信

皆様方には日頃より大変お世話になっております。また、当協会事業にご協力頂き誠にありがとうございます。直前の6年間務めさせて頂いた専務理事職を引き続き拝命しました近藤です。よろしくお願い致します。当協会の組織的な目標は、財務基盤の強化に向けた収益事業の拡大と会員増強となります。我々は経営を助言する専門家として自らがその経営目標を達成することで自らの仕事に説得力をもたせなければなりません。そのために、執行部をはじめ理事会メンバーそして会員同士の意思疎通を円滑にし、明るく開かれた組織運営を行うことで組織の吸引力を高めて参ります。私自身も専務理事として、入会したくなる、入会してよかったと思ってくれる協会運営を心がけます。先の見えないコロナ禍においては、当協会の活動も「適応」を強いられています。心強い仲間たちと一致団結し乗り切っていく所存です。何卒ご支援のほど、よろしくお願い致します。

### 理事・事務局長 土田克則



事務局長の土田克則です。引き続き事務局長を務めることになりました。

途中、別の役職をやりましたが、事務局長通算で5年目となります。権限があるようで、全くなく、なかなか面倒な役職だというのが、正直な感想ですが、2年間、任期を全うしたいと考えております。何年やっても、なかなか慣れないという感じで、ちょくちょくミスをやらかしてしまい、会員の皆様にご迷惑をかけることも、多々ありましたが、引き続き、致命的なミスはしないように、頑張っていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

あまり目立たないように、こっそりと協会運営に支障がないよう、心掛けます。

### 理事・総務委員会 委員長 岡田正博



今年度も総務委員会として活動することとなりました岡田です。よろしくお願いいたします。

今年度の総務委員会のメンバーは私のほか、金井信雄先生、熊木理先生、小林真一先生、樋口圭治先生、武藤勝

行先生です。

総務委員会は理事会や社員総会の開催に関係した業務を行います。また、毎年1月の新春講演会にも関わっています。今年の5月は新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、社員総会は最低限の規模となりました。今後の理論政策更新研修や新春講演会、その他のイベントがどうなるのかまだわかりませんが、会員の交流が図れるようになることを願っています。

### 理事・総務委員会担当 樋口圭治



昨年度から引き続き総務委員会担当理事をやらせていただきます、樋口です。今年度もよろしくお願いいたします。

微力ではありますが、総務委員長の岡田先生を始め、

土田会長や専務、事務局長のお力になればと考えています。診断士資格を取得して、10年以上になりますが、まだまだ学ばなければならないことが多いと感じる今日この頃です。

それでも、これまでやってきたことを何かの形に残したいと思い、知り合いのIT企業の方と協力して、先日YouTubeに動画を上げました。

これまで私がセミナー等で伝えてきたことを再編集した内容です。この先もしばらく投稿していく予定なので、よろしければYouTubeで、私の名前を検索してみてください。

### 理事・研修委員会 委員長 平野康晴



令和2年度より、研修委員長を拝命しました平野康晴です。研修委員会の活動を通じて、新潟県中小企業診断士協会、ならびに新潟県内中小企業の発展に尽力して参る所存です。ご指導ご鞭撻のほど、

どうぞよろしくお願いいたします。

本年度の研修委員会は、以下の活動に重点を置き取り組んで参ります。

- ① 第1回理論政策更新研修（新潟会場）の企画・運営
- ② 1次試験受験対策講座の企画・運営
- ③ スキルアップ研修の企画・運営

上記のほかにも、会員はじめ、関係機関の方々のお役に立てる研修・セミナーを随時実施していく予定です。ご意見・ご要望をお知らせいただければ幸いです。

### 理事・研修委員会担当 田村博康



本年度、研修委員会担当理事となりました田村博康と申します。研修委員会には6年間委員長として、関わらせていただいております。今年度からは、新しく平野先生が委員長とられました。

委員長が新しくなり、研修委員会の活動も進化していくものと期待しております。その進化の助けとなるように過去の経験を生かして協会の皆様が満足するような活動内容の計画立案に尽力できればと思います。また、会員の皆様からも研修委員会の活動に対して積極的なご参加をお願いするとともにご意見等を頂ければ幸甚です。これから2年間、どうぞよろしくお願いいたします。

### 理事・研修委員会担当 上村修



今年度、新たに理事に就任しました上村修です。研修委員会を担当しており、理論政策更新研修などの企画、運営等に携わっております。

昨年度より、企業再生支援研究会の代表として研修活動に参加しており、その知見を活かせればと考えております。

コロナ禍の状況下で、中小企業診断士に求められる役割は増大しております。タイムリーな研修会・勉強会の開催運営を通じて、中小企業診断士の皆様のスキルアップに役立つよう活動して参ります。よろしくお願いいたします。

### 理事・事業開発委員会 委員長 和栗聖



平素は、事業開発委員会の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。本年度で事業開発委員長5年目を務めさせていただき和栗と申します。事業開発委員会は主に外部機関との連携を図り、当協会の事業の開

発および発展を担っております。また、各種事業を通じて、協会会員同士の交流やスキルアップの場を提供しています。

事業開発委員会では一緒に活動をしていただける委員会メンバーを随時募集しています。まずは、お試し参加でも構いませんのでご興味のある方は、お気軽にお問合せください。

#### 【本年度委員会メンバー（順不同）】

渡辺芳久会員、渡邊重仁会員、小山直久会員、白倉雅晴会員、山崎寛和会員、和栗聖

また、当協会に業務を依頼したい外部機関の皆様につきましてもお気軽にお問合せください。

### 理事・事業開発委員会担当 渡邊重仁



前期、前々期に引き続き3期目の事業開発委員会担当の理事を拝命しました渡邊重仁(わたなべしげひと)と申します。新型コロナウイルスの影響により、以前とは全く違う環境に置かれた中で、協会の運営方法や各種行事の在り方も変わる必要があります。引き続き協会会員の皆様にとって有意義な情報交換や知識習得の機会が得られる魅力のある協会であるよう、このような状況下でもできることを見出し、精一杯頑張っ参りたいと思います。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

### 理事・事業開発委員会担当 小山直久



この度、理事を拝命しました小山直久と申します。

私は、経営コンサルタント・ビジネスコーチとして独立開業して7年目を迎えます。「にいがたづくり」という夢を実現する次なるステップとして考えたことが動機です。

現職でもある新潟のプロサッカークラブの創業は「スポーツで地域の人がつながり元気になる」が夢でした。次は地元中小企業が成長して共に元気になるという夢を叶えることを目指します。私が学んだことです。

- ・ 夢を持つ者だけが夢を実現します
- ・ 夢を持つ者だけが挫折を学びます
- ・ 夢を持つ者だけに良き隣人が現れます

事業開発委員会にて、諸先輩方のご指導を賜り、新潟の夢のために「地域全力応援団」として務めて参ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 理事・広報委員会 委員長 佐野盛也



いつも大変お世話になっております。佐野です。令和2年度も広報委員会を担当させて頂くことになりました。宜しくお願い致します。活動方針につきましては、今まで通り、「1. 外部関係者に対し、

協会活動並びに協会会員の情報発信を進めることにより、中小企業診断士の認知度向上を図る」、「2. 協会会員に対し、協会活動の他、診断士活動に関する有益な情報を提供することにより、協会会員の資質向上に寄与する」の2点としております。今年度は、井村吉孝会員、小林和之会員、長谷川貴一会員、山崎寛和会員、佐野盛也の計5名で広報委員会活動を行って参ります。会員の皆様には色々とお願ひ事をさせて頂くこともあろうかと思ひますが、引き続き、ご協力のほど宜しくお願ひ申し上げます。

## 理事・広報委員会担当 長谷川貴一



お世話になっております。広報委員会担当理事の長谷川貴一です。昨年度は、HP上のブログ開設や会員情報の更新、また、診断士の日のイベント企画立案等、広報委員会で担当させて頂きました。広報委員会は佐野委員長をはじめ

として合計5名という少人数にて活動を行っております。本年度もHPの管理等の役割はこれまでと同様に行います。また、診断士の日のイベントについては、新型コロナウイルスの感染防止対策を行いながら実施することとなりますが、佐野委員長のリーダーシップのもと、しっかりと検討を行っていきたく思います。広報委員会担当理事として委員長をサポートできるよう努めていきたく思います。

## 監事紹介

### 監事 武藤勝行



令和2年度から3年度の2年間、監事をさせて頂くことになりました武藤勝行です。どうぞよろしくお願ひします。現在、M. Eポーター著の「競争の戦略」にはまっています。日本で本書が出版さ

れて38年になります。未だ静かなベストセラーとして読み続けられていることを考えますと、「戦略論の古典」といってもよいのではないのでしょうか。

さて、私たちの職務基盤について考えてみますと、税理士には「税法」という職務基盤があります。中小企業診断士には、法律に基づいた職務基盤はありません。そこで「競争戦略論」という職務基盤を持つことを考えてもよいのではないのでしょうか。折に触れて、若い中小企業診断士の皆さんと楽しく議論したいと思ひます。

### 監事 辰喜太輔



この度、引き続き監事を務めることとなりました辰喜太輔です。新型コロナウイルスの影響によりその防止の観点からWEB会議といった手法が取られることが多くなってきています。私もこのような会議

に実際に何回か参加しました。遠隔地にある開催地まで、本来、足を運ばなければならないところ、自分の事務所にて参加できることから時間や労力をほとんどかけずに済みました。WEB会議の特性上、協議事項やアイデアを出し合うといった会議には不向きであるため、全てを代替することはできません。しかしながら新潟県は他県と比較しても細長く、離島も在ります。また会議の前後に予定があるため参加できないという方もおられるかと思ひます。今後、診断士協会の会議においても状況に応じて活用できたらと思ひています。

## 研究会紹介

### 企業再生支援研究会

代表 上村修



昨年度に引続き、今年度も企業再生支援研究会の代表に就任しました上村修です。よろしくお願いいたします。

第1回目の研究会を8月7日（金）に実施し、新潟県よろず支援拠点チーフコーディネーター中俣順弥様から、同拠点の概要や活動状況についてご講演頂きました（上記写真）。

2回目以降については、スキル別、業種別等のテーマ別研究会を予定しております。

また、当研究会は、理論政策更新研修・長岡会場（10月3日開催）の運営を受託しており、企業再生～事業承継にわたる広範な内容の研修を予定しております。

コロナ禍の長期化によって経営状況が悪化している中小企業者が増加しており、企業再生支援の重要度は高まっています。実際の支援業務に役立つ研究会を目指してまいります。

#### 【会員メンバー（敬称略・掲載承諾者のみ掲載）】

相澤 純、阿部哲也、井上 芳、江部誠一、太田 竜、岡田正博、金井信雄、上村 修、工藤泰暢、小林和之、小山直久、近藤 信、佐野盛也、齋田陽子、辰喜太輔、田村昌美、土田克則、土田正憲、中村公哉、長谷川伸一、平塚幸雄、平野康晴、山崎寛和、山崎勝雄、和栗 聖、渡邊重仁

（全会員数 29名）

### 事業承継研究会

代表 土田正憲

当研究会は、事業承継支援における中小企業診断士のコンサルティングスキルの向上と職域の拡大を目指すことを目的として、平成25年に設立されました。昨年度からは研究会の規約が制定されたこととともない新たなメンバーでスタートしています。

令和2年度の活動方針と研究会メンバーは以下のとおりです。

#### ○令和2年度 活動方針

1. 研究会会員（以下、「会員」という。）と外部講師による勉強会を開催し、事業承継支援に関する知識と技術等について学び、コンサルティングスキルの向上と職域の拡大を図る。
2. 研究会を2回開催する。
3. 継続的に会員拡大を図る。

#### ○研究会メンバー

阿部哲也、井上 芳、伊原英一、井村吉孝、太田 竜、鎌田晃博、銀山敏行、小林和之、齋田陽子、佐野盛也、白倉雅晴、高橋 清、辰喜太輔、田村昌美、土田克則、土田正憲、樋口圭治、平野康晴、武藤勝行、山崎勝雄、山崎寛和、和栗 聖、渡辺 謙

今年度1回目の研究会は、弁護士を講師に招いて「経営者保証ガイドライン」をテーマに開催する予定です。新型コロナウイルスの感染拡大で研究会の開催方法に工夫が求められますが、これを機会として捉え、WEBを活用した事業承継支援に関する座談会なども実施していきたいと思っております。とにかく今年度は楽しくやっていきます。ご期待ください。

最後に、当研究会ではメンバーを募集しています。入会を希望される方は、わたくし、土田正憲（m.tsuchida@ccnslt.com）までご連絡ください。

### 実務従事ポイント研究会

代表 平野康晴

実務従事ポイント研究会は、令和2年5月30日の理事会にて承認を受け発足した、新潟県中小企業診断士協会の中で最も新しい研究会です。ご存知の通り、中小企業診断士資格は、5年間で30ポイントの実務従事ポイントを取得しなければ維持できない資格です。このポイントを獲得するためには、「既に診断士が行う診断助言業務と同等の業務を実施すること」（中小企業庁 Web サイトより）という高いハードルが課せられており、企業内診断士には苦勞している方が多くいらっしゃいます。

- ・ 実務従事ポイントの稼ぎ方がわからない
- ・ 診断実務に携わる機会がない
- ・ せっかく診断士資格を取得したが、診断士らしいことをしたことがない

など、煩悶が尽きません。実務従事ポイントの獲得に悩んだり、苦勞したりしているうちに5年が経過し、せっかく取得した中小企業診断士資格を返上してしまう方もいらっしゃいます。そんな企業内診断士が抱えるお悩み・お困りごとを解決するために、この「実務従事ポイント研究会」を立ち上げました。実務従事ポイント研究会では、企業診断の機会を用意し、診断実務の経験を積んでいただきます。経験豊富な独立診断士の先輩方がコーチとなり、高品質の診断や成果物を提供できるようサポートします。さらには、単に実務従事ポイントを獲得するためではなく、実戦経験を積むことで、コンサルタントとしてのスキルの向上を目指しています。本業への効果・好影響も期待できます。なお、本誌発行時点では、以下のメンバーで活動しています。（五十音順、敬称略）

相沢 純、阿部哲也、鎌田晃博、銀山敏行  
小山直久、斎田陽子、田村博康、土田克則  
土田正憲、長谷川伸一、平野康晴、山崎寛和

実務従事ポイント研究会では随時会員を募集しています。お気軽にお声がけください。

### 青年部会

会長 長谷川貴一

いつもお世話になっております。青年部会の長谷川です。青年部会は、会員相互の交流や情報交換を目的として勉強会や会合を行っております。昨年度は、勉強会として製造業の現場視察を行うなど開催場所を会議室に限定せず部会を開催しました。また、その他新しい知識の習得に繋がる勉強会やお酒を交えた懇親会などを行って、部会員の学びに繋げるとともに交流を深めることができました。ご存じの通り、2月頃から日本全国でも広がっていった新型コロナウイルスの影響により、その後の活動については自粛をせざるを得ない状況となりました。

本年度の活動については、これまで通り会員相互の交流ができる会を行っていきます。新型コロナウイルスの影響は長期化することが想定されますので、一同が同じ場所に集まったの会合等については慎重に状況を鑑みながら検討しますが、勉強会やオンライン会議システムを使用する交流会等を企画していきます。新型コロナウイルス感染症が広まる前までは、オンライン会議での勉強会の開催やオンライン懇親会がここまで普及することは誰も想像していなかったと思います。同じ場所に皆さんが一同に集まることができないからこそ、これまでと違う新しいことが発見できる、そんな企画を行っていきたいと思います。また、本年度から新潟県中小企業青年中央会へ診断士協会の青年部会として所属することになりました。青年中央会は様々な業種の青年部会が所属しており、事業を通じて会員相互の研鑽・親睦・情報交換を図りつつ、資質向上を図ることを目的に活動している団体です。青年中央会の集まりに参加することで、また新しい知識や情報を協会内に持ち帰るとともに会員の資質向上へ繋げていきたいと思っています。最後に本年度の青年部会の部会員をご紹介します。まだまだ、青年部会員を募集しておりますので、ご興味のある方はぜひご連絡下さい。

## 青年部会員（五十音順、敬称略）

相沢 純	阿部 哲也	鎌田 晃博
小林 和之	小林 正和	小山 直久
齋田 陽子	佐野 盛也	土田 克則
土田 正憲	内藤 光輝	長尾 彰久
樋口 圭治	平野 康晴	益田 浩
山崎 寛和	和栗 聖	

## 診断士になりたい人を支援する会

### 代表 土田克則

今年で3年目を迎えた「診断士になりたい人を支援する会」ですが、会の主たる目的である、「アルコールを伴う飲食」が開催しにくい状況であるため、今年度は活動休止状態となっておりますが、第1次試験がコロナ禍の中、東京会場でも開催されたことから、急きよ、活動を再開することといたしました。以下の日程で開催いたします。8月、9月は、既に終わっている可能性が高いですが、興味のある方は是非、ご参加ください。来年以降に2次試験を受験する予定の方や、なんとなく参加してみたい方もOKです。

○8月22日14時～17時

「2次試験問題の解き方を研究する会&座談会」

・令和元年度 事例Ⅰの研究と座談会

○9月12日14時～17時

「2次試験問題の解き方を研究する会&座談会」

・令和元年度 事例Ⅱの研究と座談会

○10月10日14時～17時

「2次試験問題の解き方を研究する会&座談会」

・令和元年度 事例Ⅲ、事例Ⅳの研究

昨年度、結構難しかったようなので、昨年度の過去問で実施いたします。本来の主目的である懇親会は、予定しておりませんが、世の中の状況によっては、有志で行く人もいるのかな？と思い、そんな感じの時間で設定いたしました。

ご興味のある方は、私までご連絡ください。また、診断士を目指している人に、この会の存在を広めていただけますようお願いいたします。

## ○連絡先

診断士になりたい人を支援する会代表 土田克則

[tsuchida0806@yahoo.co.jp](mailto:tsuchida0806@yahoo.co.jp)

090-2739-9863

以下、会のメンバーです。

土田克則、土田正憲、佐野盛也、小山直久、内藤光輝、鎌田晃博、平野康晴、白倉雅晴、岡田正博、小林正和、樋口圭治、小林和之、和栗聖

## クリップボード

- ◆令和2年10月3日（土）  
理論政策更新研修（長岡会場）
- ◆令和2年11月18日（水）  
中小企業診断士の日イベント

## 編集後記

### 広報委員会

#### 佐野盛也

広報誌の執筆にご協力を頂きました皆様、広報誌の発行のため、校閲・編集作業にご尽力頂きました広報委員会メンバーの皆様、本当にありがとうございました。おかげさまで無事に「SOUP LETTER 第24号」を発行することができました。改めて感謝申し上げます。

最近、「自由が制限されることによるストレスは大きいな」ということをコロナ感染症による行動自粛で感じるようになってきました。と同時に「～したいをできることは価値ある事なんだな」とも感じています。今までは、「～したい」は実現して当たり前なものとして、喜び、楽しみに対する私自身の感度が鈍っていたのかもしれない。

経済へのダメージを考えた場合、コロナウイルスは憎むべきものです。が、個人的には、一つ一つの「～したい」を大切に扱い、生きていることの感度を高める機会として意味付けし、コロナ感染症の収束を待ちたいと思っています。